

寄宿舎便り



令和5年10月27日発行

第9号

文責 井野



長かった残暑もようやく終わりましたね。爽やかな風に、いよいよ秋の訪れを感じます。日によっては肌寒いこともありますので、体調管理には気を付けて行きたいと思います。

今年度も折り返しを過ぎました。先月の保護者懇談は、お忙しいところお時間を作っていただきありがとうございました。後期もご家庭や学校と連携し、日々の支援、指導を行っていききたいと思います。今後とも、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



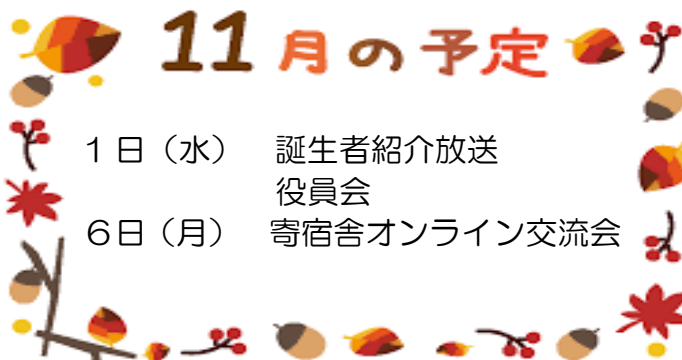
緊急搜索訓練

9月28日(木) 緊急搜索訓練を寄宿舎の職員で行いました。

18時過ぎの想定で、予定時刻になっても外出先から戻って来られない舎生がおり、連絡がつかないので搜索に行くという内容でした。日が落ちて暗くなる中で、いかに早く関係職員や家庭と連絡をとりながら搜索できるか、搜索時の情報共有の方法はどのようなのがよいのかなど、すぐに対応できる体制づくりの大切さを痛感しました。訓練の反省を今後活かしていきたいと思っています。

下校後の外出や週末の帰省、帰舎時など外に出る機会があります。慣れて分かっている場所や道であっても、時間帯やその時の地理状況(工事中で通行できない、建物が変わり目印がなくなったなど)で環境も大きく変わります。舎生のみなさんには、「何かあったらすぐ連絡をして助けを求める」ことを日頃から呼びかけていきたいと思っています。

(本田)



11月の予定

1日(水) 誕生者紹介放送
役員会

6日(月) 寄宿舎オンライン交流会



お月見茶話会を行いました🔍

9月25日(月)にお月見茶話会を行いました。今回は、健軍商店街にある、おちゃいち山陽堂から、日本茶インストラクターの資格をお持ちの方に来ていただき、お茶入れ体験を行いました。教えていただいた美味しいお茶の入れ方を紹介します♪

①湯飲みに沸騰したお湯を入れて冷まします。

(例：2人前の時は、湯飲みを2個準備してお湯を入れます)

②お茶の葉を、急須に入れます。(1人前はティースプーン山盛り1杯、約3g)

③70～80℃に冷ましたお湯を急須に入れます。

④お湯を入れたら、1分ほど待ってから湯飲みに注ぎます。

⑤注ぐときは、A→B→B→Aの順で。(右図参照)

お茶を全て注ぎ終えるまでくり返します。

これを「廻し注ぎ(まわしそそぎ)」といいます。



A ←→ B

参加した舎生は全員、①から⑤の行程でお茶を入れるのが初めての体験でした。ポットからお湯を注ぐのも、急須を使うのも、乾燥した茶葉を触るのも、香り確かめるのも初めてだったようです。中には、お茶葉を少し食べて、味確かめる舎生もいました。今回、山陽堂の方が自宅で育てている本物のお茶の葉も持ってきてくださったので、お茶の木に、葉っぱがついている状態と、乾燥させた状態での触り心地や、香りの違いも実感することができました。

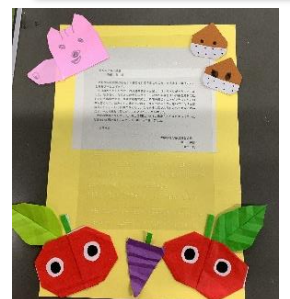
そして、自分で丁寧に入れたお茶は、「甘い!」「苦くない!」「色が濃い」と様々な感想が聞かれました。会の途中の質問コーナーでは、「お茶は何種類ありますか?」「お茶の値段の違いはなんですか?」など、たくさんの質問が出ました。普段はお茶をほとんど飲まない舎生にとって、初めて尽くしのお茶体験でした。終わってからの感想では、

- ・これまではお茶が苦手だったけど、自分で入れてお茶が好きになった。
- ・味のする飲み物はほとんど飲まないけど、美味しいと思った。
- ・家でも入れてみたいと思った。
- ・家族にも飲ませたい。
- ・山陽堂さんへ行ってみたい。



と、大好評でした。お茶受けには、同じく健軍商店街にあるお団子屋さくら餅から自分たちで選んだお団子を一緒に食べました。さくら餅やおはぎ、あんこ餅、白玉など、温かいお茶と一緒に食べ、みんな大満足でした。山陽堂の方も、舎生からの感想を聞き、とても喜ばれていました。

今回、お月見茶話会を企画した役員の二人から、寄宿舍で新しい体験ができ、とてもよかった。舎生がみんな楽しそうだった。次も新しいことに挑戦して、みんなの興味の幅を広げていきたいという声が聞かれ、大変頼もしく感じました。今後も役員の二人が舎生みんなの笑顔のために活躍すると思いますので、ぜひお楽しみに。(甲斐)



役員でお礼状を作成し、
舎生が折り紙で飾りを
付けました！